

マークのつき方について。

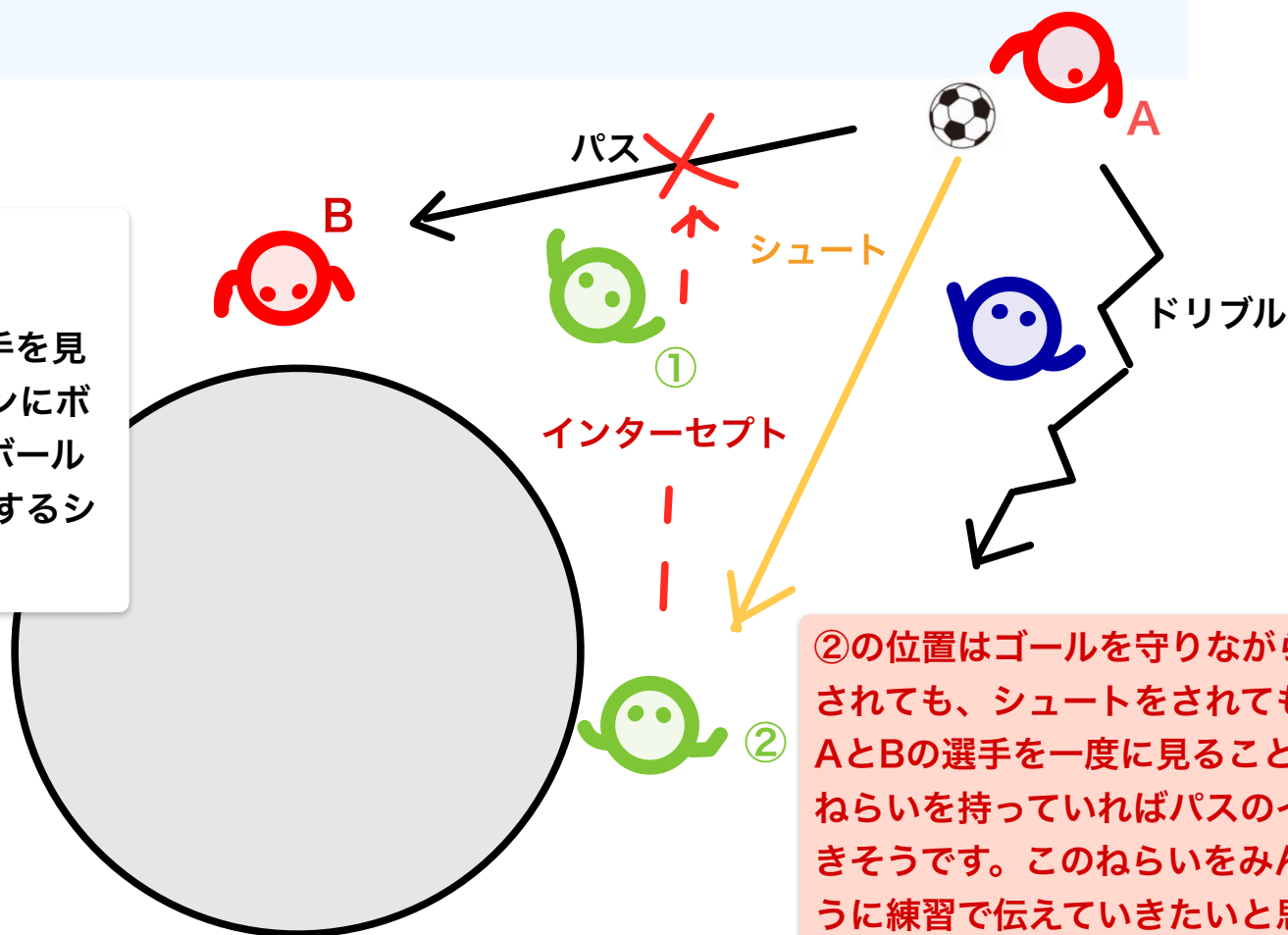
子どもたちには

『ゴールを守りながら、

ボールを持っている選手と自分のマークしている相手の両方が一度に見える位置。』

と伝えています。

今回の試合では①のマークのつき方をしている選手が多く、ボールを見ている間にBの選手を見失っていたり、グレーのゾーンにボールが出るとBの選手に先にボールに触られ、後追いになったりするシーンが多く見られました。



②の位置はゴールを守りながら相手にドリブルをされても、シュートをされてもゴールが守れて、AとBの選手を一度に見ることができています。ねらいを持っていればパスのインターセプトもできそうです。このねらいをみんなで共有できるように練習で伝えていきたいと思います。